

News Release

電源プラグ・コード及び配線器具による事故の防止（注意喚起）

電気製品の電源プラグ・コード及び配線器具による事故^{※1}が、冬場に多く発生しています。NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※2}において、電源プラグ・コード及び配線器具による事故は、平成21年度から平成25年度までの5年間に合計1,003件^{※3}ありました。

被害状況別に見ると、死亡事故14件、重傷事故7件、軽傷事故88件、拡大被害^{※4}491件、製品破損^{※5}401件、他2件となっています。このうち、火災と判断されたものは190件（18.9%）ありました。

これらの事故の中で、使用者の誤使用や不注意等、使い方に関わる事故（事故原因区分^{※6}：B～F）は353件（35.2%）発生しています。

事故の発生状況を分析すると、「電源コードに過度な繰り返しの引っ張りや屈曲が加わったため断線・ショートした」、「電源コードを改造・修理したため接触不良が生じて異常発熱した」、「電源プラグ栓刃にほこりや水分が付着したためトラッキング現象が生じた」等の事故が多く発生しています。これらの事故は、異常発熱や発火を伴うものが多く、火災に至るおそれがあるため、注意が必要です。

また、特に冬場は暖房機器など消費電力の大きい製品を使用する機会が増える時期であるため、これらの事故が多く発生しています。

【主な事故事例】

- ヘアドライヤーの収納時に電源コードを本体に巻き付けるなどしていたため、電源コードが断線してヘアドライヤーの使用中にショートし、火花が出てやけどを負った（軽傷）。
- タイマー機能付コンセントに熱帯魚用水槽の照明器具を接続して使用中、コンセント内部に水槽の塩水が浸入したため、トラッキング現象が生じて火災が発生した（拡大被害）。
- テーブルタップに定格を超える電気製品を接続し、5年間継続して使用していたため、過電流によって電源プラグ部分が過熱され、電源プラグ樹脂部分が焼損した（製品破損）。

電源プラグ・コード及び配線器具は、電気製品に電力を供給する重要な役割を担う部分ですが、見た目での危険を認識しづらく、誤った取扱いを続けることによって事故に至るおそれがあります。

これらの事故は、日頃の清掃や取扱い時の注意事項を守る、事故の予兆に早めに気付くこと等によって未然に防ぐことができます。製品を正しく使用し、事故を未然に防止していただくため、注意喚起を行うこととしました。

（※1）ヘアドライヤーや電気ストーブ等、電気製品の電源プラグ・コード類及びテーブルタップや延長コード、コンセント等の配線器具による事故を含む。ただし、壁コンセントより内側の屋内配線での事故は含まない。

（※2）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。

（※3）平成26年11月28日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

（※4）製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

（※5）被害状況別で、人的被害と同時に物的被害が発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。

（※6）別紙1参照。

1. 事故の発生状況（全体）

（1） 年度別 事故発生件数

図1に「年度別 事故発生件数※7」を示します。

電源プラグ・コード及び配線器具による事故は、毎年 200 件前後の事故が発生しています。

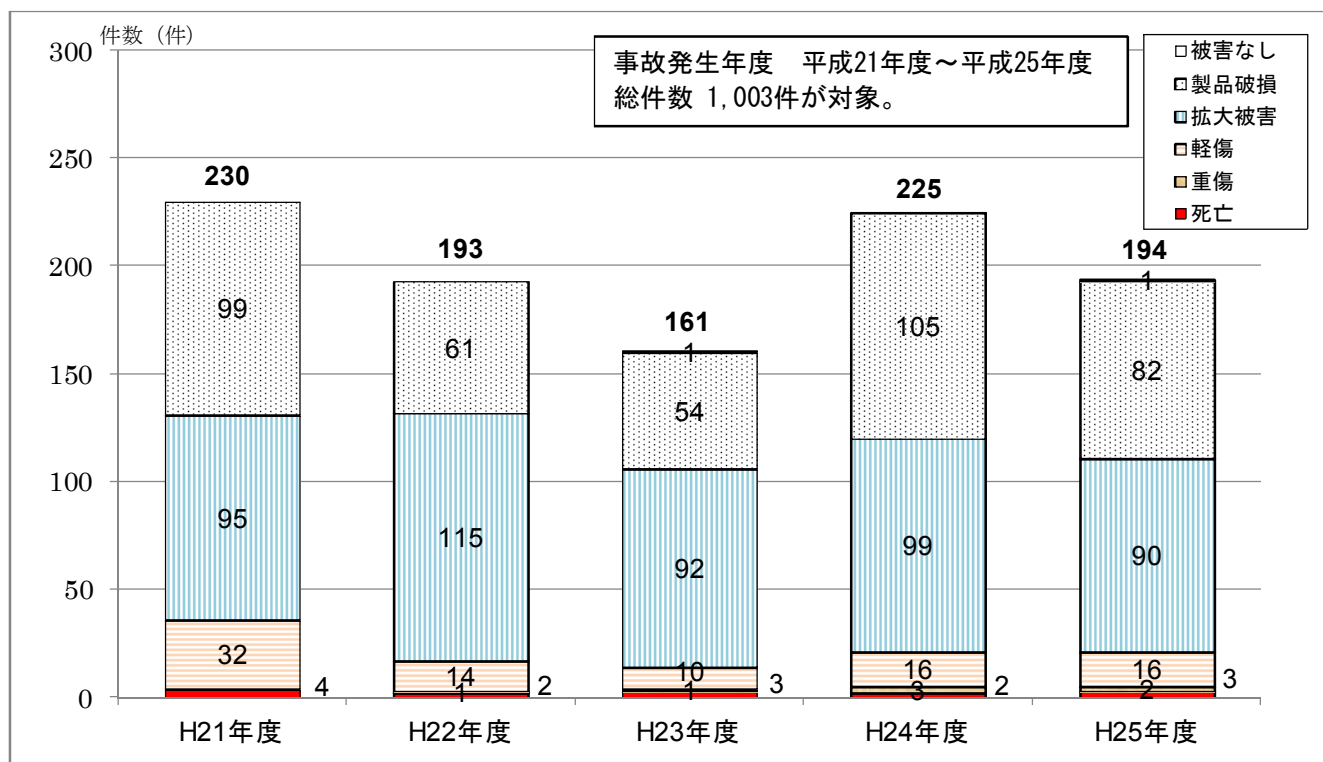


図1 年度別事故発生件数

（※7） 同一事業者による製品の多発事故を含む。

- アイロンの設計不良によって、プロテクター先端の電源コード付近に負荷がかかり芯線が断線、スパークが発生（拡大被害・製品破損）
… 平成 24 年度 50 件、平成 25 年度 44 件
- テーブルタップの検査工程で見つかった不具合スイッチの取りかえ工程の不良（製品破損）
… 平成 24 年度 17 件

(2) 月別 事故発生件数

図2に「月別 事故発生件数」を示します。

電源プラグ・コード及び配線器具による事故は、12月から2月にかけて多く発生しています。この時期は消費電力量の大きい電気暖房機器を使用する機会が増えることが、事故件数が増加する理由のひとつと考えられます。

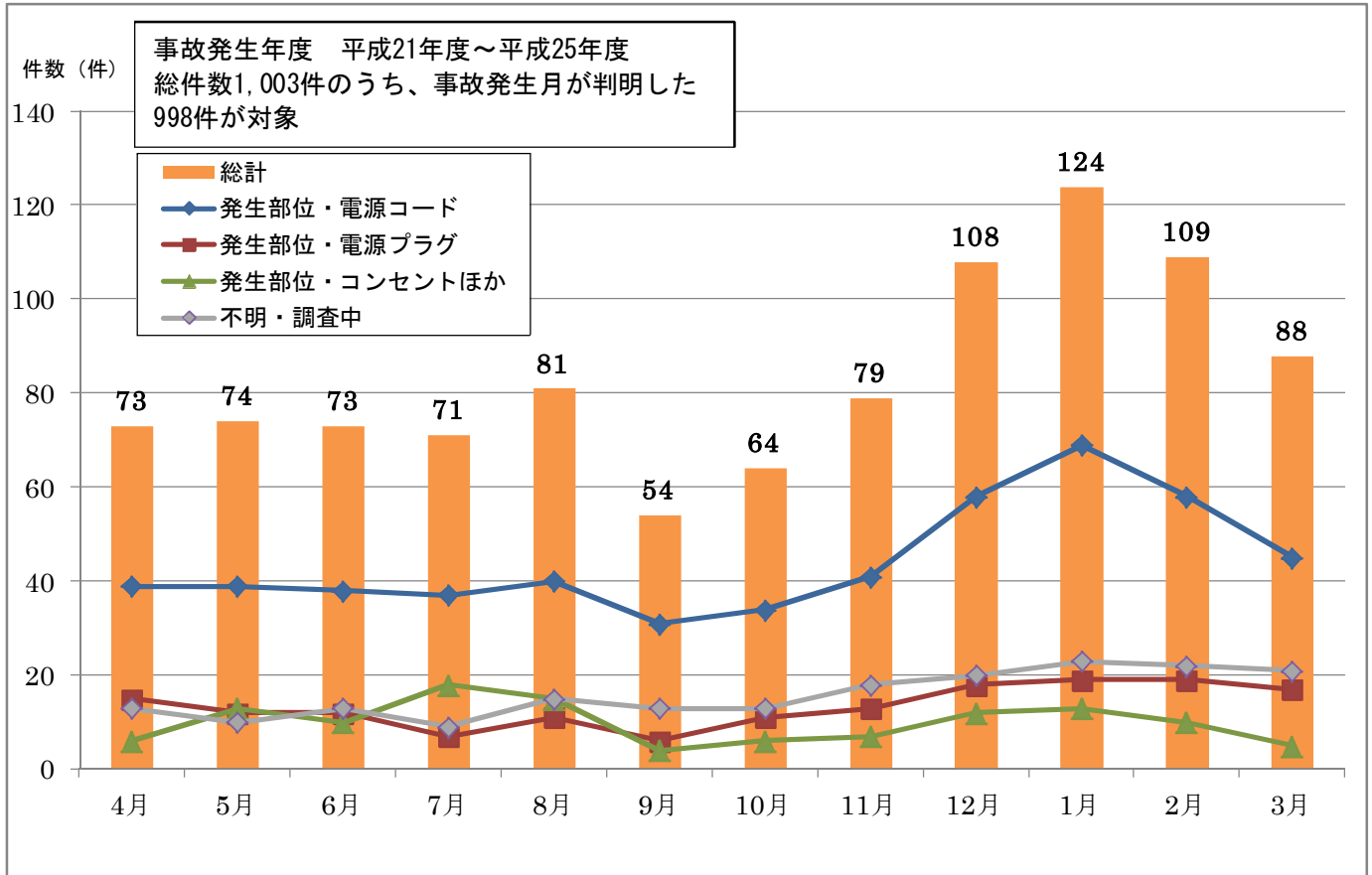


図2 月別事故発生件数

(3) 製品別 被害状況別 事故件数

表1に「製品別 被害状況別 事故件数」を示します。

テーブルタップや延長コード等の事故が最も多く262件発生しています。次いでアイロンや掃除機、ヘアドライヤー等の電源コードを取り回す機器 201件、電気暖房機器 134件等、合計1,003件の事故が発生しています。このうち火災を伴う事故は190件(18.9%)あります。

人的被害では、死亡・重傷といった重篤な被害が21件(2.1%)発生しており、重篤な被害における被害人数は32人(死亡23人、重傷9人)となっています。このうち16件が火災を伴う事故であり、特に死亡事故14件は、全て火災を伴っています。

物的被害においては、製品本体の被害に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼした拡大被害が491件(49.0%)発生しており、そのうち161件が火災を伴う事故です。拡大被害の事故の中には、家屋が全焼した事故もあります。

表1 製品別 被害状況別 事故件数^{※8}

製品の種類		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損		
配線器具	テーブルタップ、延長コード等	7 (15) [7]	2 (4) [1]	12 (14) [2]	144 [40]	96	1	262 (33) [50]	
	コンセント	1 (1) [1]			13 [3]	12		26 (1) [4]	
電源プラグ・コード類	アイロン、掃除機、ヘアドライヤー（電源コードを取り回す機器）			38 (38)	20 [2]	143		201 (38) [2]	
	電気暖房機器（電気ストーブ、電気温風暖房機、電気毛布等）	3 (4) [3]	1 (1)	17 (21) [6]	86 [20]	26	1	134 (26) [29]	
	エアコン・冷風機、空気清浄機、除湿機、加湿器	1 (1) [1]		4 (4) [2]	67 [30]	17		89 (5) [33]	
	キッチン家電機器（冷蔵庫、食器洗乾燥機、炊飯器等）	1 (1) [1]	1 (1)	2 (2)	61 [28]	8		73 (4) [29]	
	洗濯機、乾燥機				9 [1]	4		13 (0) [1]	
	その他（音響機器、直流電源装置、扇風機等）	1 (1) [1]	3 (3) [1]	15 (18) [3]	91 [37]	95		205 (22) [42]	
合計	事故件数	14	7	88	491	401	2	1003	
	被害者数	(23)	(9)	(97)	(0)	(0)	(0)	(129)	
	火災件数	[14]	[2]	[13]	[161]	[0]	[0]	[190]	

(※8) 平成 26 年 11 月 28 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(4) 年代別 被害人数

人的被害の被害者 129 人のうち、年代が判明した 82 人について、図 3 に「年代別 被害人数」を示します。

電源プラグ・コード及び配線器具による事故の人的被害は、30 歳代をピークとして、いずれの年代においても発生しています。

このうち、死亡・重傷といった重篤な被害は 23 人（死亡 14 人、重傷 9 人）発生しており、そのほとんどが火災を伴う事故によるものです。

特に 60 歳代以上の高齢者^{※9}において、重篤な被害は 23 人中 15 人発生しており、その発生割合が高く、加齢に伴う身体能力の低下によって事故の発生に気付かない、気付くのが遅れた、体が不自由だったため避難が遅れた等の理由が考えられます。

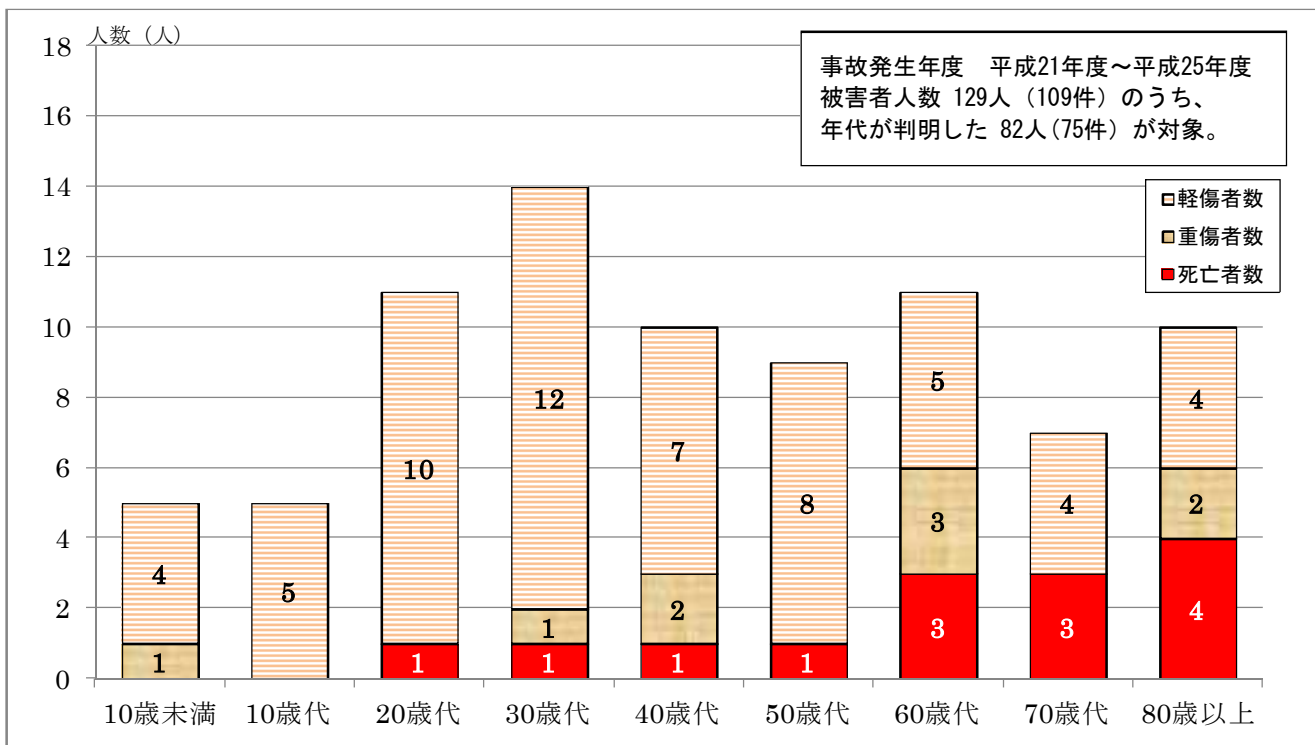


図 3 年代別 被害人数（単位：人）

（※9）NITE 事故情報収集データベース分析上、10 歳未満を子供、60 歳以上を高齢者と表現している

(5) 事故原因区分別 事故件数

① 事故原因区分別 事故件数

図4に「事故原因区分別 事故件数」を示します。

電源プラグ・コード及び配線器具による事故 1,003 件について、事故原因区分（別紙1参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3） 318 件（31.7%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E、F） 332 件（33.1%）
- 原因不明のもの（事故原因区分 G3 を除く G） 274 件（27.3%）
- 調査中のもの（事故原因区分 H） 79 件（7.9%）

の比率になっています。

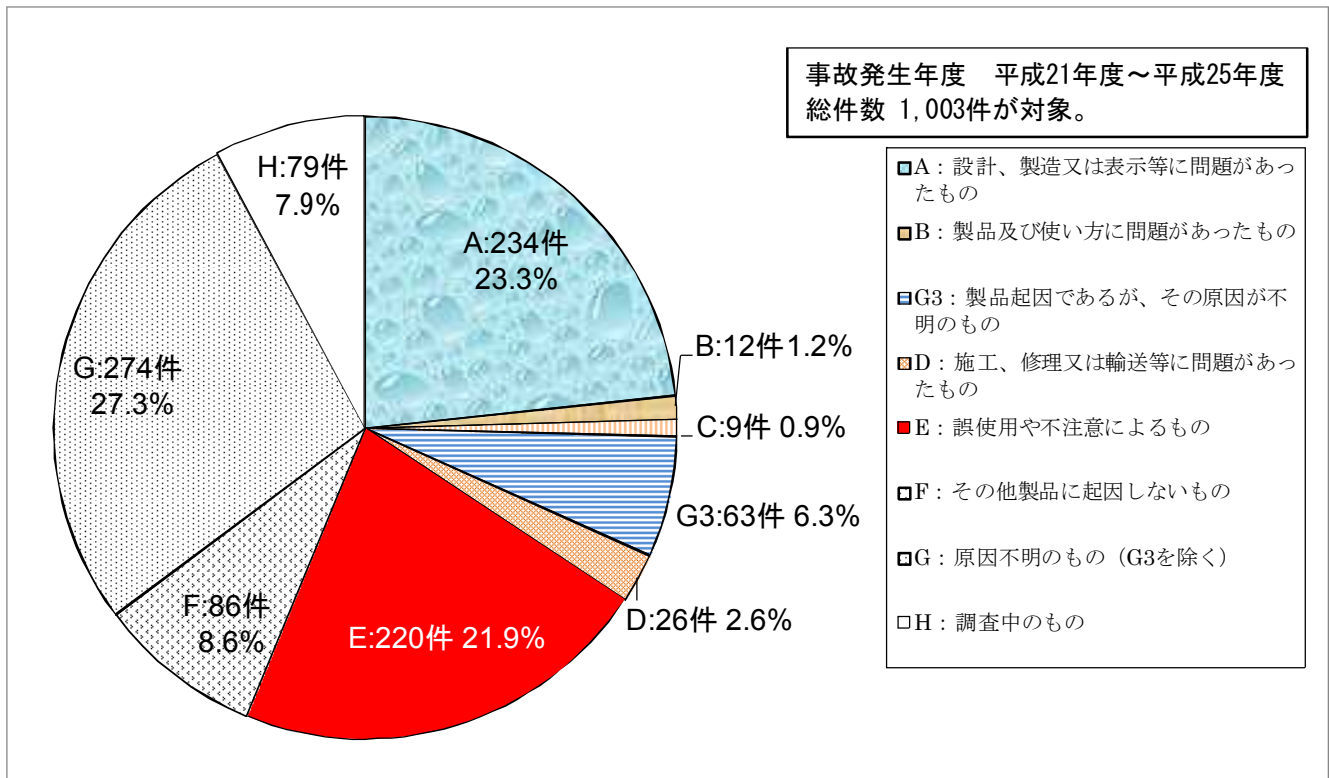


図4 事故原因区分別 事故件数（単位：件）

② 事故原因区分別 被害状況

表2に「事故原因区分別 被害状況」を示します。

死亡、重傷、軽傷の人的被害を伴う事故に着目すると、総合計 109 件ありますが、そのうち「事故原因区分 E：使用者の誤使用や不注意によるもの」が人的被害の発生件数が最も多く、合計 36 件（33.0%）あります。

また、「事故原因区分 G：原因不明のもの」は合計 274 件（事故全体の 27.3%）あり、死亡・重傷事故も合計 11 件発生していますが、製品事故に伴う火災等によって製品本体や主要な部品等が焼失した等によって、原因の特定に至らなかったものです。

表 2 事故原因区分別 被害状況※8 (単位：件)

被害状況 製品の種類		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	A：設計、製造又は表示等に問題があったもの			8 (8)	36 [2]	190		234 (8) [2]
	B：製品及び使い方に問題があったもの			1 (1)	4	7		12 (1)
	C：経年劣化によるもの			1 (1)	7 [2]	1		9 (1) [2]
	G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの			10 (10)	16 [4]	37		63 (10) [4]
	小計 (事故件数)	0	0	20	63	235	0	318
製品に起因しない事故	D：施工、修理又は輸送等に問題があったもの			1 (1)	20 [1]	5		26 (1) [8]
	E：誤使用や不注意によるもの	2 (2) [2]	1 (2)	33 (36) [6]	132 [31]	52		220 (40) [39]
	F：その他製品に起因しないもの	2 (2) [2]	2 (3) [1]	2 (2) [1]	72 [33]	7	1	86 (7) [37]
	小計 (事故件数)	4	3	36	224	64	1	332
G：原因不明のもの (G3を除く)		9 (18) [9]	2 (2) [1]	27 (31) [4]	155 [65]	80	1	274 (51) [79]
H：調査中のもの		1 (1) [1]	2 (2)	5 (7) [1]	49 [17]	22		79 (10) [19]
合計	事故件数	14	7	88	491	401	2	1003
	被害者数	(23)	(9)	(97)				(129)
	火災件数	[14]	[2]	[13]	[161]			[190]

(6) 事故の発生部位別 事故件数

図5に「事故発生部位別 事故件数」を示します。

電源プラグ・コード及び配線器具による事故1,003件について、異常発熱・発火等の事故発生部位別に分類すると、「電源コード」が最も多く531件(52.9%)発生しています。次いで「電源プラグ」が175件(17.4%)発生しています。

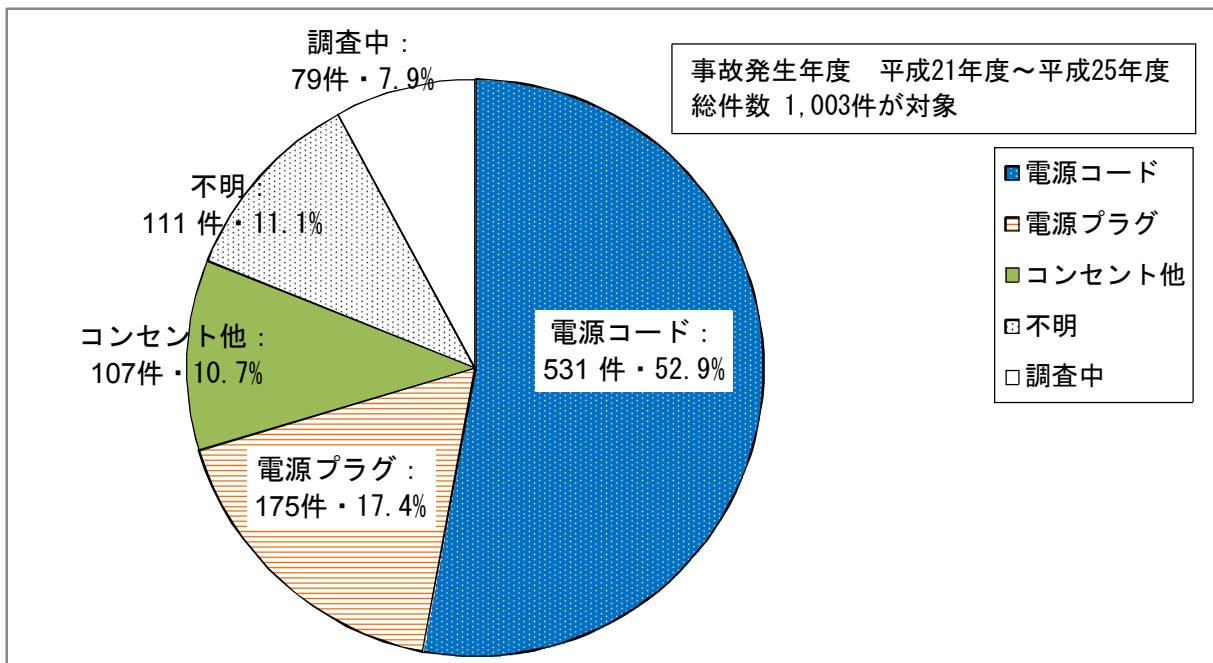


図5 事故の発生部位別 事故件数 (単位: 件)

(7) 事故の現象別 被害状況

表3に「現象別 被害状況」を示します。

電源プラグ・コード及び配線器具における使用者の誤使用や不注意など、使い方に関わる事故(事故原因区分B~F: 353件)について、事故発生件数が多い現象を示しています。

「電源コード類に過度な繰り返しの引っ張りや屈曲・荷重の負荷で断線・ショートして発火」が最も多く、172件(48.7%)発生しています。これは、特にアイロンや掃除機、ヘアドライヤーといった電源コードを取り回す機器や電気暖房機器において多く発生しています。

次いで、エアコンや送風機等の専用コンセントを必要とする機器において、不適切な電源コードの途中延長接続を行った事故で、「エアコン等の電源コード類の改造・修理により、接続部の接触不良が生じて異常発熱」が54件(15.3%)発生しています。

その他、電源プラグ栓刃にほこり、水分が付着したことによるトラッキング現象や、電源プラグ栓刃の根元に導電性の異物が接触してスパークが生じた等の事故が起きています。

表3 現象別 被害状況※8 (単位：件)

被害状況 現象の内容		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
事故原因区分B、F	電源コード類に過度な繰り返しの引っ張りや屈曲・荷重の負荷で断線・ショートし発火			26 (27) [3]	98 [30]	48		172 (27) [33]
	エアコン等の電源コード類の改造・修理により接続部の接触不良が生じ異常発熱	1 (1) [1]		3 (3) [3]	44 [21]	6		54 (4) [25]
	電源プラグ栓刃にほこりと水分の付着、液体の浸入等でトラッキング現象		1 (1)	1 (1)	31 [8]	5		38 (2) [8]
	電源プラグ栓刃の根元に導電性の異物が接触してスパークが発生			4 (4)	10	3		17 (4)
	電源プラグ栓刃の変形や差込不足などで、栓刃と刃受けの間で接触不良による異常発熱				13 [1]	3		16 [1]
	配線器具の定格を超えて電気製品を使用していたため電源コードが異常発熱	1 (1) [1]	(1)	1 (3)	9	1		12 (5) [1]
	長期使用により、電源コードに引っ張りや屈曲などストレスが加わり、断線や被覆が絶縁劣化			1 (1)	4 [2]	1		6 (1) [2]
	その他（束ねた電源コードが異常発熱、長期使用により電源プラグ栓刃が接触不良等	2 (2) [2]	2 (3) [1]	2 (2) [2]	26 [11]	5	1	38 (7) [16]
	小計（事故件数）	4	3	38	235	72	1	353
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの				8 (8)	36 [2]	190		234 (8) [2]
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの				10 (10)	16 [4]	37		63 (10) [4]
G：原因不明のもの（G3を除く）		9 (18) [9]	2 (2) [1]	27 (31) [4]	155 [65]	80	1	274 (51) [79]
H：調査中のもの		1 (1) [1]	2 (2)	5 (7) [1]	49 [17]	22		79 (10) [19]
合計	事故件数 被害者数 火災件数	14 (23) [14]	7 (9) [2]	88 (97) [13]	491 [161]	401	2	1003 (129) [190]

(8) 事故の事例

平成 21 年度～平成 25 年度までに NITE に寄せられた事故情報のうち、電源プラグ・コードや配線器具を使用する際に多く発生している事例を示します。

- ① 電源コード類に過度な繰り返しの引っ張りや屈曲・荷重の負荷で断線・ショートし発火
平成 24 年 3 月 1 日（東京都、軽傷、女性・30 歳代）

【事故の内容】

ヘアドライヤーを使用中、異音とともに火花が出て腕にやけどを負った。

【事故の原因】

電源コードをヘアドライヤー本体に巻き付けるなどしていたため、本体側のコード付け根部分に過度な力が加わり、コード芯線が断線して短絡・スパークが発生し、やけどを負ったと推定される。



（事故品）電源コード根元付近に過度の屈曲が加わり、コード芯線が半断線したドライヤー

- ② 電源プラグ栓刃にほこり、水分等が付着してトラッキング現象が発生
平成 25 年 4 月 8 日（兵庫県、拡大被害、男性・50 歳代）

【事故の内容】

タイマー機能付コンセントを熱帯魚用水槽の照明器具に接続して使用中、コンセントを焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

タイマー機能付コンセントの内部に、水槽の照明器具の電源コードを伝って水槽内の塩水が浸入したため、刃受部の両極間でトラッキング現象が生じ、発火したと推定される。

- ③ 配線器具の定格電流を超えて電気製品を使用していたため、電源コードが異常発熱
平成 25 年 8 月 4 日（兵庫県、製品破損、女性・30 歳代）

【事故の内容】

テーブルタップに複数の電気製品を接続して 5 年間使用していたところ、テーブルタップが溶融した。

【事故の原因】

テーブルタップに接続可能な最大電力（1,500W）を大きく超えて電気製品を接続（最大 2,580W）し、約 5 年間にわたって使用していたため、過電流によりテーブルタップの電源プラグ部が過熱して溶融したと推定される。

その他、断線した電源コードにテープを巻いて補修して使用を続けていたため、異常発熱してショートして発火した事例や、テーブルタップの電源コード類を束ねた状態でエアコンなどの電気製品を接続していたため、電源コードが異常発熱してショートし、出火した事例等が報告されています。

2. 電源プラグ・コード及び配線器具による事故の防止

電源プラグ・コード及び配線器具等による事故を未然に防ぐため、取扱説明書の注意事項をよく読み、正しく使用していただくとともに、機器の異常や事故の予兆に早めに気がつくことが必要です。

不具合や故障が判明した時は、使用を中止して、お買い求めの販売店や製造事業者等に相談してください。

(1) 電源コードの注意事項

① 電源コードに負荷をかける使い方をしない

電源コードをねじる、踏みつけるといった負荷がかかる使い方をするると、電源コードの芯線が断線して異常発熱や発火の原因となるおそれがあります。

電気製品を使用する際は、以下の点に注意してください。

- 電源コードを本体などに巻き付けたままの状態で使用、収納しない
- 電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張って抜かない
- 電源コードを繰り返しかえし曲げたりねじったりしない
- 電源コードを上から重いもので踏みつけたりドアなどに挟みこんだりしない
- 電源コードを束ねたままの状態で使用しない
- 電源コードを釘や絶縁ステップル等の金具で固定しない



(写真) ヘアドライヤーの電源コードがねじれて芯線が断線した様子(右下は断線部X線映像)

特に冬場は電気ストーブや電気あんか、電気カーペット等の電気暖房機器において、「電源コードに過度な繰り返しの引っ張りや屈曲・荷重の負荷で断線・ショートし発火」等の事故が多く発生しています。電気暖房機器を使用する際は、テーブルの脚やドアなどで挟みこまない、電源コードの付け根や温度コントローラーの付け根部分などを極端に屈曲させて保管しないよう注意してください。

【参考】

電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故の防止（注意喚起）（平成 26 年 12 月 25 日）

<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs141225.html>

② 事故の予兆に早めに気がつく

電気製品を使用中、電源コードに以下のような現象が見られる場合は使用を中止して、お買い求めの販売店や製造事業者等に相談し、修理を依頼する、または新しい電源コードに交換してください。

- 電源コードを動かすと電気製品の電源が入ったり消えたりする
- 電源コードが部分的に熱くなる
- 電源コードの一部が破れている、傷が入っている、内部の配線が見えている
- 電源コードの一部が硬くなっている、こぶができています

(2) 電源プラグの注意事項

① トラッキング現象に注意する

電源プラグを長期間差し込んだままにすると、コンセントとの隙間にホコリや水分が付着してトラッキング現象が生じるおそれがあります。

電源プラグを使用する際は、以下の点に注意してください。

- 電源プラグとコンセントの間に隙間が生じないようしっかりと差し込む
- 電源プラグとコンセント、テーブルタップ等の間にたまったホコリ汚れは定期的に取り除く

(再現実験)

ホコリがたまった電源プラグでトラッキング現象が発生する様子



② 事故の予兆に早めに気がつく

電気製品を使用中、電源プラグに以下のような現象が見られる場合は使用を中止し、お買い求めの販売店や製造事業者にご相談してください。

- 電源プラグとコンセント、電源コード等との接続部分が緩くなっている
- 電源プラグやコンセントが変形・変色している

(3) コンセント、テーブルタップ類の注意事項

① 水分や洗剤、殺虫剤等に注意する

水や洗剤、殺虫剤等がコンセント部分にかかった時は使用を中止してください。

水分によってショートしたり、洗剤・殺虫剤等の成分によって被覆が劣化して異常発熱するおそれがあります。

台所や洗面所、水槽の周囲など水まわりで使用する場合は特に注意してください。

コンセントやテーブルタップの中には、ホコリや液体、異物が入り込まないように、差し込み口にシャッターがついた製品が販売されています。

そのほか、コンセントや電源プラグに装着して、ホコリや液体、異物が入り込まないようにするコンセントカバーも販売されています。



(写真) 差込口にシャッターがついた装置

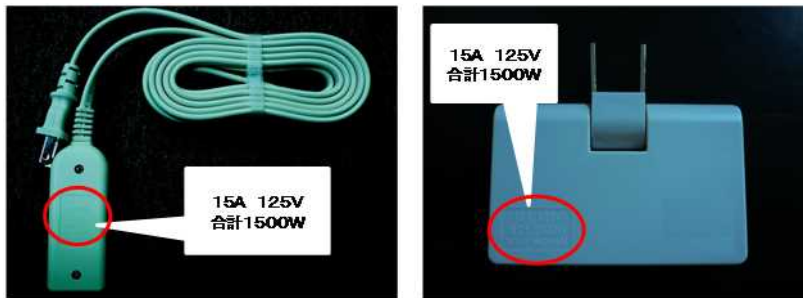
② コンセントに接続可能な最大電力を超えて使用しない

一つのコンセントで使用できる電気の容量には限りがあります。

テーブルタップに電気製品を接続する際は、接続可能な最大電力を超えないよう注意してください。

接続できる電気製品の合計消費電力は、テーブルタップ本体やパッケージに記載されている場合があります。複数の電気製品をテーブルタップに接続する際には、それぞれの消費電力を確認し、合計が超えないよう注意してください。

また、消費電力の限度内であっても、オイルヒーターなどの暖房器具やエアコンなど、テーブルタップの使用を禁止している製品があります。接続する電気製品の取り扱い説明書を確認してください。



【参考 主な電気機器の消費電力目安】

製品名	消費電力	製品名	消費電力
アイロン	1,200~1,400W	オイルヒーター	500~1,500W
ヘアドライヤー	600~1,200W	セラミックヒーター	1,200W
掃除機	1,000~1,100W	電気温風暖房機	600~1,200W
電子レンジ (30リットルクラス)	1,500W	電気カーペット	250~750W
ホットプレート	1,300W	電気こたつ	500W
オーブントースター	1,300W	エアコン (100ボルト)	440~1,040W
食器洗乾燥機	1,200~1,300W	除湿機	300~600W
炊飯器	350~1,200W	加湿器	20~300W
冷蔵庫	150~500W	空気清浄機	10~90W
プラズマテレビ (50インチ)	400~500W		
液晶テレビ (50インチ)	120~160W		

【NITE が実施した過去の注意喚起・関連情報】

- 電源コード及び配線器具の事故防止 (注意喚起) (平成 25 年 12 月 26 日)
<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs131226.html>
- 電源コード及び配線器具による事故の防止について (注意喚起) (平成 24 年 10 月 18 日)
<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs12101802.html>

3. 社告・リコール製品による事故

(1) 社告・リコール製品による被害状況別 事故件数

表5に「社告・リコール製品別 被害状況別 事故件数」を示します。

平成21年度から平成25年度までの5年間に発生した電源プラグ・コード及び配線器具等による事故1,003件のうち、社告・リコール^{※10}を行った製品による事故は105件(10.5%)ありました。このうち、29件(2.9%)は社告・リコール実施後に発生した事故となっています。

電源プラグ・コード及び配線器具等の不具合は、異常発熱、発煙、発火等によってやけどや火災に至るおそれがあり、そのまま使い続けることは大変危険です。

電源コードの被覆が硬くなっている、電源コードが部分的に熱くなっているなどといった事故の予兆に気をつけていただくとともに、お使いの製品が社告・リコール製品に該当している場合には、不具合が認識されない場合であっても直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店や製造事業者にご相談してください。

表5 社告・リコール製品による被害状況別 事故件数^{※11}

製品の種類		被害状況			人的被害		物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損破				
配線器具	テーブルタップ、延長コード等				1	20 (3)				21 (3)
	コンセント				1	2				3 (0)
電源プラグ・コード	アイロン、掃除機、ヘアドライヤー			9 (1)	2 (1)	9 (7)				20 (9)
	電気暖房機器				2 (2)	1 (1)				3 (3)
	エアコン・冷風機、空気清浄機、除湿機、加湿器				5 (1)	1 (1)				6 (2)
	キッチン家電				1					1 (0)
	その他(音響機器、直流電源装置等)			3 (1)	9 (2)	39 (9)				51 (12)
合計	事故件数	0	0	12	21	72	0			105
	社告・リコール実施後事故件数	(0)	(0)	(2)	(6)	(21)	(0)			(29)

(※10) 社告・リコールには消費者への注意喚起を含む。

(※11) 平成26年11月28日現在、重複、対象外情報を除いた社告・リコール製品による事故発生件数。

()は社告・リコール実施後に発生した事故件数

(2) 社告・リコール情報の検索

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989 年度）以降に製造業者、販売業者等の事業者が行った社告・リコール情報を収集したデータベースを公開しており、社告・リコール情報の検索を行うことができます。

平成 21 年 4 月以降に行われた電源プラグ・コード及び配線器具等の社告・リコール情報について、別紙 2 に記載しています。

<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE」、「リコール」等の単語で検索してください。

The screenshot displays the search interface for product accidents and recalls. The top navigation bar includes '製品事故情報・リコール情報' and '製品安全'. The main menu highlights 'リコール情報の検索'. The search form includes a breadcrumb trail: HOME > 製品安全分野 > 社告・リコールの検索. Below the breadcrumb, there is a link to '社告・リコール情報データベース検索の手引き' and a note that data from Heisei 1 (1989) onwards is available. The search form has three rows for keywords, each with a search item dropdown (set to '指定なし') and a selection dropdown (set to '含む'). There are also checkboxes for search conditions and a '検索する' button.

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 大福 敏彦
担当者 長田、池谷、西澤

- 記者説明会当日
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降
電話：06-6942-1113 FAX：06-6946-7280

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品起因であるが、その原因が不明のもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3は除く）	原因不明
	H	調査中のもの	調査中のもの

1. コードの断線・ショート

電源コードや配線器具のコードの断線段階の概略について、図1～4に示します。

- ① コードの芯線が断線していない状態 (図1)
※ 点線部はコードの絶縁被覆部を透明にして、内部の芯線を見えるようにしたものです。
- ② 使用中の屈曲や引っ張り等によって素線が数本切れた状態 (図2)
このまま使用を続け、さらに過重、負荷等をうけると、断線箇所や断線本数が増えていきます。
- ③ 部分的に断線した芯線に電流を流した状態 (図3)
素線が部分的に断線したコードに電流を流すと、断線部分では電流の通り道が細くなっているため、その部分で温度が上昇します。
温度が上昇すると、芯線の酸化が進み、電流の通り道が更に狭くなり、温度上昇が加速され、絶縁被覆が熱分解されます。
- ④ コードの絶縁被覆が熱分解・破壊されてコードがショートした状態 (図4)
電流の通り道が細くなることによる発熱のほか、断線した素線間の電流スパークによる異常発熱によって絶縁被覆(樹脂)が破壊されます。
過負荷やコードを束ねて使用していた等の条件が重なると、両芯線が接触してショートする場合があります。

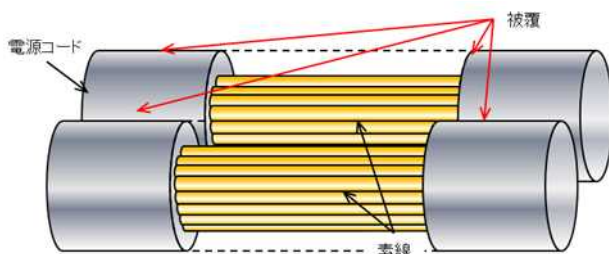


図1 正常時のコード芯線

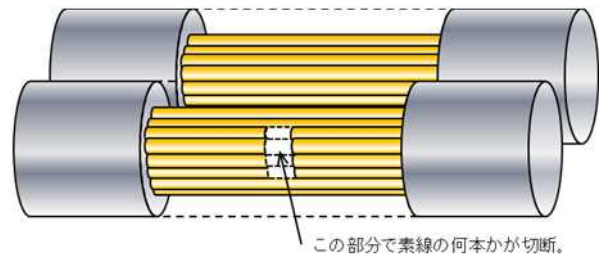


図2 素線が一部断線 (断線の初期)

異常発熱が著しくなると絶縁被覆の熱分解が始まる。

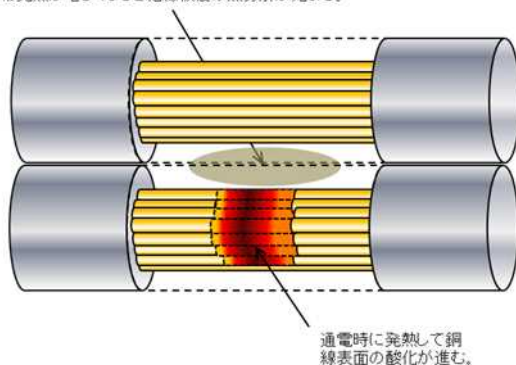


図3 通電時の発熱

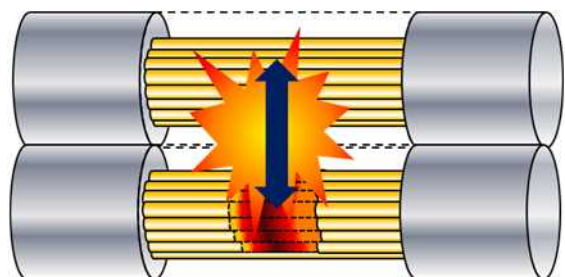
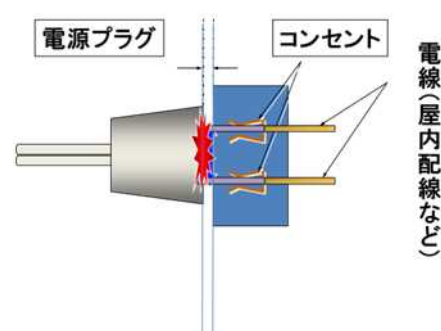


図4 発熱による絶縁被覆の溶断

2. トラッキング現象

コンセントやテーブルタップに電源プラグを長期間差し込んだままにしていると、コンセントやプラグの周囲にホコリや湿気がたまりやすくなります。

たまったホコリや水分によって、電源プラグ栓刃（差込刃）の間に微弱な電流が流れる状態となり、火花放電を繰り返すことによって電源プラグの樹脂部分が徐々に炭化して、発火へと至る現象を「トラッキング現象」といいます。



3. トラッキング現象を防止するための技術基準

電源プラグのトラッキング現象による事故を防止するため、これまで水回りで多く使用される電気冷蔵庫・冷凍庫を対象に、電気用品安全法に基づく「電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について」において、電源プラグに耐トラッキング性を持たせるための技術基準が定められていました。

水回りに設置した製品以外でもトラッキング現象による事故が生じている状況をふまえて、平成27年9月からは電源プラグ、マルチタップ、ダイレクトプラグイン機器、漏電遮断機が、平成28年3月からは家庭内で日常的に使用される全ての電気製品において耐トラッキング性が要求されることになっています。

平成28年3月17日までの移行期間の後、家庭内で日常的に使用される全ての電気製品は、耐トラッキング性を有するものとなります。

(1) これまでの経緯

① 電気冷蔵庫・冷凍庫の電源プラグに耐トラッキング性が要求事項として策定

(平成21年9月11日 改正：移行期間は平成22年8月31日まで)

電気冷蔵庫・冷凍庫に使用されている電源プラグは比較的大電流が常時通電しており、また、湿気の高い場所に設置されることが多いため、トラッキング現象を防止するため、電源プラグの耐トラッキング性を個別要求事項として規定。

② 電源プラグ、ダイレクトプラグイン機器、漏電遮断機等に適用範囲を拡大

(平成26年9月18日 改正：移行期間は平成27年9月17日まで)

トラッキング現象が、台所などの水回りに設置した製品以外でも発生している状況をふまえて、電源プラグ単体や本体に栓刃を有する機器（マルチタップ、ダイレクトプラグイン機器、漏電遮断機等）を対象に、耐トラッキング性を要求事項として規定。

③ 家庭内で日常的に使用される全ての電気製品に適用範囲を拡大

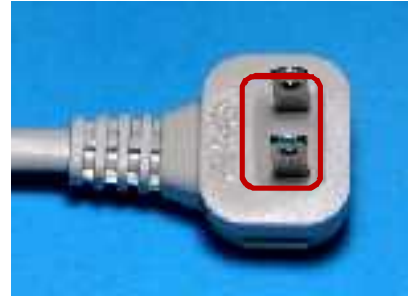
(平成27年1月16日 改正：移行期間は平成28年3月17日まで)

トラッキング現象が、台所などの水回りに設置した製品以外でも発生している状況をふまえて、家庭内で日常的に使用される全ての電気製品を対象に、耐トラッキング性を要求事項として規定。

(2) 耐トラッキング性の要求事項

電源プラグの耐トラッキング性の要求事項として、次の①及び②が定められています。

- ① 電源プラグ外面で栓刃に直接接する絶縁材料について、一定の耐トラッキング性を有すること



- ② 栓刃間を保持する絶縁材料について、一定の耐火性を有すること。



平成 21 年度以降に NITE に通知された電源プラグ・コード及び配線器具等の社告・リコール情報（修理・施工不備によるものや注意喚起を含む）について、以下の表に示します。

（追記予定）

社告・リコール一覧

公表日	品名	事業者名	概要
2012/09/13	テーブルタップ	大和電器株式会社（製造） 朝日電器株式会社（販売）	<p>[製品名及び型式]</p> <p>配線スイッチ付テーブルタップ ブランド名：ELPA</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 商品名：スイッチ付タップ 3 個口 型番： WLS-N31EB(W)/WLS-N32EB(W)/WLS-N33EB(W)/WLS-N35EB(W) / WLS-N31EBD(W)/WLS-N33EBD(W)/WLS-N35EBD(W) 対象ロット： QC01～QC31 QD01～QD30 QE01～QE31 QF01～QF30 QG01～QG15 ● 商品名：スイッチ付タップ 4 個口 型番： WLS-N41EB(W)/WLS-N42EB(W)/WLS-N43EB(W)/WLS-N42EBD(W) 対象ロット： QC01～QC31 QD01～QD30 QE01～QE31 QF01～QF30 QG01～QG15 ● 商品名：スイッチ付タップ 6 個口 型番：WLS-N61EB(W)/WLS-N62EB(W)/WLS-N63EB(W) 対象ロット： QC01～QC31 QD01～QD30 QE01～QE31 QF01～QF30 QG01～QG15 ● 商品名：プレミアムタップ 5 個口 型番： WBS-N3B(RD)/WBS-N3B(BL) /WBS-N3B(DG)/WBS-N3B(SL) WBS-N3B(CG) 対象ロット： QC01～QC31 QD01～QD30 QE01～QE31 QF01～QF30 QG01～QG15 ● 商品名：耐雷サージタップ 5 個口 型番：WLS-5015B(W) 対象ロット：QC01～QC31/QD01～QD30/QE01～QE31/ QF01～QF30/QG01～QG15 ● 商品名：スイッチ付 耐雷サージタップ 3 個口 型番： WBS-301B(W)/WBS-302B(W)/WBS-303B(W)/WBS-305B(W) / WBS-301BD(W)/WBS-303BD(W)/WBS-305BD(W) 対象ロット：C01～QC31/QD01～QD30/QE01～QE31/QF01～QF30 QG01～QG15 ● 商品名：スイッチ付 耐雷サージタップ 4 個口 型番： WLS-N41OMB(W)/WLS-N42OMB(W)/WLS-N43OMB(W) / WLS-N45OMB(W)/WLS-N42OMBD(W)/WLS-N43OMBD(W) / WLS-N41OMBD(W)

			<p>対象ロット： QC01～QC31/QD01～QD30/QE01～QE31/QF01～QF30/ QG01～QG15</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 商品名：スイッチ付 耐雷サージタップ 6 個口 型番： WLS-N610MB (W) /WLS-N620MB (W) /WLS-N630MB (W) / WLS-N650MB (W) <p>対象ロット： QC01～QC31/QD01～QD30/QE01～QE31/QF01～QF30/ QG01～QG15</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 商品名：安全節約タップ 4 個口 型番： WBS-N420SB (W) /WBS-N450SB (W) /WBS-N4100SB (W) / WBS-N420SBD (W) <p>対象ロット： QC01～QC31/QD01～QD30/QE01～QE31/QF01～QF30/ QG01～QG15</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 商品名：安全節約タップ 6 個口 型番：WBS-N620SB (W) /WBS-N650SB (W) /WBS-N6100SB (W) <p>対象ロット： QC01～QC31/QD01～QD30/QE01～QE31/QF01～QF30/ QG01～QG15</p> <p>[URL] http://www.yamatodenki.com/order/inform-1/</p>
2013/12/06	扇風機	株式会社アピックスインターナショナル	<p>[製品名及び型式] 製品名：タワーファン（扇風機） 型番：AFT-677RI (WC) / (IS) [URL] http://www.apix-intl.co.jp/news/news_details.php?news_no=31</p>
2012/03/28	サーキュレーター	アイリスオーヤマ株式会社	<p>[製品名及び型式] <ul style="list-style-type: none"> ● サーキュレーター EAC-2（ブラック・ホワイト） ● サーキュレーター首振り EAC-2K（ブラック・ホワイト） ※ サーキュレーターENC-20、ENC-20K、ENC-20KR、ENC-20KT は対象外 [URL] http://www.irisohtyama.co.jp/safetyinfo/attencirculator_120328.html</p>

公表日	品名	事業者名	概要
2014/12/10	AC 電源コード	レノボ・ジャパン株式会社	<p>[製品名及び型式]</p> <p>製品名： IdeaPad シリーズ、Lenovo シリーズ ノードブック・コンピュータ用 AC 電源コード</p> <p>型番： LS-15（電源コードの AC アダプタ側のプラグ表記有り）</p> <p>対象コンピュータ機種：</p> <p>IdeaPad S100/IdeaPad S10-3/IdeaPadS10-3s/ IdeaPad S10-3t/IdeaPad S110/IdeaPadS205/IdeaPad U150/ IdeaPad U160/IdeaPad U165/IdeaPad U260 / IdeaPad U300s/IdeaPad Y560/IdeaPad Y560p/IdeaPad Y570 IdeaPad Z370/IdeaPad Z470/IdeaPadZ560/IdeaPad Z570/ IdeaPad Z575/IdeaPadZ580/Lenovo G465/Lenovo G475/ Lenovo G550/LenovoG560 /Lenovo G560e/Lenovo G565/ LenovoG570 /Lenovo G575/Lenovo G580/</p> <p>[URL]</p> <p>http://support.lenovo.com/ja/powercord2014</p>
2014/08/27	ノート PC 用 AC 電源コード	日本ヒューレット・パッカード株式会社	<p>[製品名及び型式]</p> <p>対象製品： HP ノートブック PC/Mini ノートブック PC、 Compaq ノートブック PC、ドッキングステーション等のオプション製品の AC アダプターに同梱されていた AC 電源コード品番「349756-001」のうち「LS-15」の表示があるもの</p> <p>影響を受けるプラットフォーム:HP ノートブック PC/Mini ノートブック PC、Compaq ノートブック PC、ドッキングステーション等のオプション製品</p> <p>* 「LS-15」のマークが付いている AC 電源コードが、すべて自主回収プログラムに該当するわけではありませんので、下記の「HP ノートブック PC 用 AC 電源コードの安全性にかかわる自主回収・交換プログラム」 ページで確認してください。</p> <p>[URL]</p> <p>https://h30652.www3.hp.com/</p>
2011/07/13	外部入出力装置用 AC アダプター	株式会社アイ・オー・データ機器	<p>[製品名及び型式]</p> <p>製品型番/シリアル番号（（末尾の xx は任意の英数字））</p> <p>① DVDRW-iE4. 7P2/YP40001001xx~YP40002000xx</p> <p>② DVDRW-iE4. 7P3/YPP0000001xx~YPP0002500xx</p> <p>③ DVDRW-iU4. 7P2/YMZ0004001xx~YMZ0006000xx</p> <p>④ DVDRW-iU4. 7P3/YPN0000001xx~YPN0002300xx</p> <p>⑤ DVR-iUM4/ YVP0000001xx~YVP0003000xx YVP0004501xx~YVP0007000xx</p> <p>⑥ HDA-iE200/ YRP0000001xx~YRP0002000xx YRPOA00001xx~YRPOA00400xx</p> <p>⑦ HDA-iU200 /YRR0000001xx~YRR0002497xx</p> <p>[URL]</p> <p>http://www.iodata.jp/news/2011/important/20110713.htm</p>

公表日	品名	事業者名	概要
2011/03/01	AC 充電 (iPod/iPhone 用)	エレコム株式会社	[製品名及び型式] 製品名 iPod/iPhone 用 AC 充電器 型番 AVA-ACDBK、AVA-ACDWH、AVA-ACDUBK、AVA-ACDUWH [URL] http://www.elecom.co.jp/support/news/2011/0301/index.html
2012/02/20	加湿器 (超音波式)	株式会社 KOM	[製品名及び型式] 超音波加湿器『PERFUME:HIR-01』
2014/01/22	液晶テレビ	日立コンシューマエレクトロニクス株式会社	[製品名及び型式] 販売型式 (モニター表示型式 (前面左下に表示)) UT32-HV700B (UT32-MH700JB) /UT32-HV700W (UT32-MH700JW) UT32-HV700A (UT32-MH700JA)/UT32-HV700R (UT32-MH700JR) UT32-WP770B (UT32-MW770JB)/UT32-WP770W (UT32-MW770JW) UT37-XV700 (UT37-MX700J) /UT37-XP770B (UT37-MX770JB) UT37-XP770W (UT37-MX770JW) /UT42-XV700 (UT42-MX700J) UT42-XP770B (UT42-MX770JB) /UT42-XP770W (UT42-MX770JW) UT47-XV700 (UT47-MX700J)/UT47-XP770B (UT47-MX770JB) UT47-XP770W (UT47-MX770JW) [URL] http://av.hitachi.co.jp/link/tv-ut.html
2012/10/17	液晶プロジェクター	(製造・販売) 三洋電機株式会社 (製造・販売) 松下電器産業株式会社 (現パナソニック株式会社)	[製品名及び型式] ◎三洋電機株式会社 1) 品番 LP-Z3 JAN コード : (S) 4973934392120/(K) 4973934392113 ◎松下電器産業株式会社 2) 品番 : TH-AE200 JAN コード : 4984824537170 3) 品番 : TH-AE300 JAN コード : 4984824537187 4) 品番 : TH-AE500 JAN コード : 4984824581937 5) 品番 : TH-AE700 JAN コード : 4984824630932 [URL] http://panasonic.jp/support/info/ZA.html
2012/02/01	DVD プレーヤー	株式会社オーム電機	[製品名及び型式] DVD プレーヤー : (DVD-198Z) 対象ロット番号 : D20110500001~D20110515000 ※ 上記対象ロット番号の内、対象外となるもの 本体裏面の製造番号ラベルの下側に○ (白いラベル) が貼付されている製品は、電源コードに問題はありません。 [URL] http://www.ohm-electric.co.jp/showcase/DVD-198Z/DVD-198Z.html
2010/03/31	ポータブルラジカセ	株式会社ティーン・エム・ワイ	[製品名及び型式] ポータブルラジカセ : DS-CK800A、DS-CK900A [URL] http://web.archive.org/web/20120919232841/http://www.tmy2000.com/support/important_info.html

公表日	品名	事業者名	概要
2009/06/17	iPod 用 2.1ch 木のスピーカー	エレコム株式会社	[製品名及び型式] ASP-WPS9BRD [ダークブラウン] ASP-WPS9BRL [ライトブラウン] [URL] http://www.elecom.co.jp/support/news/2009/0617/
2014/02/12	電動工具	コーナン商事株式会社	[製品名及び型式] PROACT ハイスピード切断機 180mm PALW-482 JANコード : 4522831155286 [URL] http://www.hc-kohnan.com/important/images/2014.02.12_highspeedsetudanki.pdf
2014/01/22	テレビ用 デジタル チューナー	日立コンシューマエレクトロニクス株式会社	[製品名及び型式] 型式 : IV-R1000 [URL] http://av.hitachi.co.jp/link/tv-ut.html
2010/11/25	保温器	コンビ株式会社	[製品名及び型式] クイックウォーマーHV 製造番号 ① A-02001~99999 ② B-00001~88247 ③ K-02051~173182 ④ C-02031~206470 [URL] http://www.combi.co.jp/topics/files/101125_3.pdf